

戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと（仮）」設立骨子（案）

戦争遺産フォーラムくまもと事務局・3/24版

1 熊本に、戦争と平和のミュージアム設立に向けて

本会「戦争遺産フォーラムくまもと」は、熊本県内各地で空襲・戦災の調査・検証や慰霊を、そして戦争遺跡の調査・研究や保存活動を行う8団体の情報交換会としてスタートしました。平成27年5月から本名称に変更し、活動に協賛される個人にもご参加いただき、県内各地にその活動を広げてきました。

戦後70年の節目となる平成27年8月9日、県民に「熊本空襲の実相」を知っていただく機会として「戦後70年 米軍資料から熊本空襲を考える！」を、地域で平和活動を行っている事業所「生活協同組合 くまもと」と共催し、多くの共感を得ました。また同年7月、熊本日新聞社・RKK熊本放送・熊本市が主催した「平和のバトン展」では、郷土の戦争遺跡・遺物等の展示、「県内戦争遺産を巡る旅」の証言者・案内人として、多くの県民の方々に、県内戦争遺跡や戦時資料を知っていただく機会となりました。

平成28年熊本地震以降は、戦争遺跡の復旧・復興を丁寧に進めながら「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の大切さを学ぶ活動」の集大成として「熊本に、戦争と平和のミュージアム“ピースくまもと（仮）”」設立に向け、全国各地の平和資料館等々の調査を行い内容検討を行ってきました。

戦後73年が目前となり、戦争の証言、その体験を語る方々も激減し、県民運動として、今、次世代に語り継ぐ事が急務です。

その協議結果を本骨子案として提案いたします。

2 「ピースくまもと（仮）」の目指す三つの姿

(1) 熊本空襲を調査・記録し、未来に継承する！

- ①熊本空襲の被害の実態を調べ、記録し、語り継ぐ場
- ②犠牲者の慰霊の場
- ③平成7年熊本市平和都市宣言にそって、行政の公式慰霊行事につなげる場

(2) 熊本の戦争の歴史とその遺産に学ぶ！

- ①軍都熊本の「戦争の歴史」を学ぶ場
- ②県内の戦争遺産（戦争遺跡や戦時資料、地域づくり）の情報発信の場
- ③貴重な戦争体験「記憶の遺産」に学び、新たな観光「ダークツーリズム」の視点を活かした戦争遺産観光ガイダンスの場

(3) 次の世代が“学び！ 体験し！ ヒトに伝える！”

- ①熊本の戦時資料を調査し、収集し、バーチャルミュージアムとして発信する場
- ②証言や語りを通して次の世代が、熊本の戦争の実相を学び、現在の戦争を考える平和学習の場
- ③十五年戦争全般に関わる5,000点に及び戦時資料・書籍等を通し、ユングマンプロジェクト等の体験学習にもからめ、次の世代に語り継ぐ場
- ④次世代の子ども達が「Peace Messengers」を発信する場

3 設立に向け「県民運動」として広げたい！

(1) 新老人の会「戦争を語り継ぐ会」と「戦争遺産フォーラムくまもと」を母体としてその骨子を固める。

(2) 平成30年3月24日以降は、戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと（仮）」設立準備事務局会へ移行する。そこでは設立趣意書等も作成し、賛同者を募り活動内容等を広く協議する。

(3) くまもと戦跡ネットHP内に「ピースくまもと（仮）」設立準備事務局会の紹介HPを設置する。

(<http://www.kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>)
設立骨子（案）、協議状況等を紹介し、問い合わせフォームにて、県民からの多くの意見を聞き活動に反映させる。